

## 国土交通委員会で質問！ 現状の課題と未来へ挑戦

山本左近の活動はこちら



H.P. YouTube Twitter Facebook Instagram

4月15日、衆議院・国土交通

委員会に立ちました。今回の質疑では、先月鈴鹿で開催されたF1グランプリに金子国土交通大臣も出席されたことを踏まえ、「クルマー」「エネルギー」「物流」「道路インフラ」をテーマに、日本の成長と暮らしを支える課題について政府の見解を質しました。

**問1. F1由来の技術革新と次世代燃料政策について**  
F1は世界最高峰のレースですが、単なるスポーツではなく、自動車技術の実験場でもある。今年からF1では、合成燃料など持続可能燃料が100%使用され、環境負荷を抑えながら既存エンジンも活用できる新たな可能性が示されている。こうした技術は、自動車だけでなく、航空燃料(SAF)や船舶燃料にも応用でき、日本のエネルギー安全保障や脱炭素政策にも大きく貢献する可能性がある。日本は世界有数の自動車産業国であり、この分野でも主導権を握るべきではないか。大臣の見解を伺う。

**【答弁】**  
金子大臣からは、アイルトン・セナの時代からF1をご覧になっており、モータースポーツは環境性能や安全性能の向上に寄与するだけでなく、観光振興の面でも大きな意義があるとの認識が示されました。そのうえで、持続可能燃料であるクリーン燃料の推進についてもしっかりと進めていくとの答弁。

**問2. 原油価格上昇と物流業界への影響について**  
イラン情勢の影響により原油価格が上昇し、物流業界では軽油価格の高騰や供給不安が広がっている。本来、大量購入によって安く調達できるはずの自社給油施設(インハウス)でも、逆に割高になるなど、市場のゆがみも生じている。物流は日本経済を支える血液であり、ここが止まれば地域経済も暮らしも止まる。国として燃料供給の安定確保と価格高騰対策を講じるべきではないか。

**【答弁】**  
国交省からは、情勢を注視しながら軽油の安定確保に努めるとともに、燃料サーチャージ制などを通じて適切な価格転嫁を進めていくとの答弁。

**問3. 地元・東三河の道路渋滞対策について**  
地元・東三河では、国道23号名豊道路の豊橋バイパス区間に大型トラックが集中し、慢性的な渋滞が続いている。物流効率の低下に加え、地域住民の生活道路にも影響が出ていることから、当該区間の4車線化や、広域的な代替ルートとなる浜松湖西豊橋道路の整備について、国の方針を。

**【答弁】**  
国土交通省からは、地域の皆様の理解と協力を得ながら、必要な道路整備を着実に進めていきたいとの答弁。

**問4. 道路工事現場を守る資材高騰対策について**  
道路整備を進めるうえで、現場そのものも厳しい状況にある。アスファルト価格の上昇に加え、資材不足による調達難も起きており、このままでは工事の遅延や停止も懸念される。そこで、資材価格の変動を契約額へ反映するスライド条項の徹底など、現場を守る仕組みはどうなっているか。

**【答弁】**  
国交省からは、直轄工事のみならず地方自治体の工事も含め、スライド条項の活用徹底や実際の購入価格を踏まえた価格転嫁にしっかりと対応していくとの力強い答弁を引き出しました。

今回取り上げたテーマは、すべて日本の競争力と暮らしの安心に直結しています。足元の基盤が揺らげば、未来への挑戦はできません。現場の声を丁寧に受け止めながら、日本を再び力強い国へと前進させるため、取り組んでまいります。

衆議院議員

### 山本左近

《やまもと・さこん》



愛知県豊橋市出身。1982年7月9日生まれ。43歳。豊橋南高校卒業、南山大学。11歳、レーシングキャリアスタート。19歳、単身渡欧。24歳、当時日本人最年少F1ドライバーデビュー。30歳、帰国後、医療介護福祉の世界に。医療法人・社会福祉法人さわらびグループの統括本部長就任。2019年第25回参議院議員通常選挙(比例代表)に自民党公認で立候補し、落選。2021年第49回衆議院議員総選挙(東海ブロック比例代表)に自民党公認で立候補し初当選。当選直後から、合成燃料の国産化の必要性を訴え、3年以内に日本初の実証プラントの稼働を実現した。また、2022年8月、初当選後一年に満たない中、文部科学大臣政務官兼復興大臣政務官に異例の抜擢。科学技術・文化の担務を中心に活躍。2024年第50回衆議院議員総選挙にて落選。2026年第51回衆議院議員総選挙にて2期目の当選。英語、スペイン語を話すマルチリンガル。

# 国交委員会にて質問に立つ！

## 山本左近の質疑に対する政府答弁の要点：物流・建設・次世代モビリティへの対応

令和8年4月15日の国土交通委員会における山本左近議員の質疑に対し、金子大臣および政府参考人が答弁。  
モータースポーツを起点とした技術革新から、燃料・資材高騰に直面する現場の救済措置まで、広範な課題への政府方針が示された。

### 持続可能な成長とインフラ整備

### 現場の危機管理とコスト高騰対策

3日間で**31.5万人**が来場

F1は「最先端の実験場」であり観光の柱。  
ハイブリッド技術やSAF等の環境性能  
向上の起点となる。



**軽油の安定供給と  
価格転嫁の徹底**

経産省と連携した供給確保に加え、  
荷主団体への文書要請により  
燃料サーチャージ制を推進。

**物流網強化に向けた  
道路整備の加速**

国道23号豊橋バイパスの4車線化や、  
浜松湖西豊橋道路の事業化に向けた  
手続を推進する。



**アスファルト高騰に伴う  
「スライド条項」の柔軟運用**

直轄工事では実購入価格を反映  
可能とし、地方公共団体へも同様の  
運用を強く要請。



**脱炭素化に向けた  
クリーンエネルギー活用**

持続可能燃料を環境行動計画に位置づけ、  
産学官連携で社会実装に向けた環境整備を行う。



**逆ざや解消に向けた  
適正な価格転嫁**

資材高騰による施工停止を防ぐため、最新単価  
反映と適切な請負代金額の変更を徹底する。

モータースポーツ技術の  
一般車への還元



ハイブリッド技術や安全構造など、レースで培  
われた技術が市販車の発展に大きく貢献する。

脱炭素化に向けた  
「持続可能燃料」の活用推進



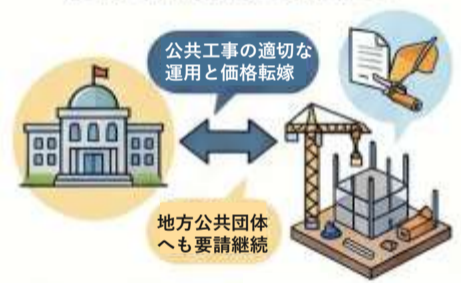
F1での知見を活かし、自動車・航空・船舶分野で  
のクリーンエネルギー導入を産学官で進める。

アスファルト価格高騰に対する  
「スライド条項」の柔軟な運用



短期的な価格変動を反映するため、直轄工事で  
実際の購入価格を用いた代金変更を可能とした。

地方自治体への  
適切な価格転嫁の働きかけ



公共工事の適切な発注と価格転嫁が現場の隅々  
まで徹底されるよう、地方団体へも要請を継続。

開会中も土日は、地元で活動しています。気軽にイベントなどにお声かけください！



国交委員会にて質問に立ちました！



豊橋市消防団各分団の結隊式に出席。  
隊員の皆様、ご家族の皆様、関係するすべての皆様に  
敬意と感謝を述べました。



芦原校区の自治会総会に出席。  
土屋祐司 豊橋市議会議員と  
中村竜彦 県議秘書と共に。

**JAPAN as No.1 Again!**

日本を再び世界一の国へ